

HSK

生きる 仲間

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 H・S・K通巻448号

◎発行日 平成21年7月10日(毎月10日発行)

◎発行責任者 鈴木 啓三

◎編集 札幌腎臓病患者友の会

札幌市北区北17条西2丁目2番38

サザンアベニュー北大301

◎発行所 北海道身体障害者団体 定期刊行物協会

札幌腎臓病患者友の会

第 89 号

■ 新任運営委員の二氏大いに語る ■ 札幌市障がい者交通費助成の見直し



平成21年度定期総会

第34回 札幌腎友会定期総会

全国の透析患者28万人 経済危機で厳しい医療費

今年度は会の中核をなす役員、局員を失うという状況の中での総会であり、高齢化のせい出席者も減少していて今後問題を残している、その対策が急がれている。

平成二十二年五月一七日(日)午前九時三〇分より北区民センターに於いて三八名の出席者により定期総会が開催されました。

坂事務局長代行の司会により開始され、逝去された仲間の冥福を祈り全員で黙祷の後、鈴木会長挨拶がありました。

「昨年度の活動は議案書にもある通り、各役員、会員の皆様のご協力により滞りなく実施されました。しかし社会情勢などにより会員数の減少に歯止めをかける事が出来なかつた事や、堀井副会長や柳沼事務局長が立て続けに志し半ばで逝去された事は残念に思います。また三月末には、一年間事務局を手伝っていただいた三上照美さんも急逝してしまいました。腎友会の活動も大変になってくると思いません。けれども皆様のご協力を

願いたいと思います。三〇年前に透析療法が始まった頃、透析患者の余命は二・三年と言われていました。現在は糖尿病性腎症からの透析患者が四〇%を越え、透析導入年齢も平均六〇歳を越えていて、透析患者の余命も二〇年・三〇年・四〇年と延びております。全国の透析患者数は二八万人を越えていると思われ、国の透析医療費は一兆円を越えています。一〇〇年に一度と言われる経済危機の中、私達透析患者をめぐる状況はますます厳しくなると思われまます。透析医療費も透析施設への圧迫により患者へのサービスが低下したり、閉鎖や廃業にと追い込まれる施設が出て来る事が心配されています。昨年四月からは七五歳以上の方に後期高齢者医療が始まりました。私達透析患

者を含め一定以上の障がい者は六五歳からの適用になり、低所得者に重い負担になったり、国民全体がこの医療費を負担する制度になっています。更に厚労省では医療改革と称して、さまざまな負担増を検討しているようでありまます。また札幌市においても身体障がい者交通費助成制度の見直しと、私達透析患者にとって大変厳しい案が出されましたので、昨年一月には会員の皆様に陳情署名をお願いいたしましたし、なんと今年度からの実施は阻止する事が出来ました。今年度は来年度実施に向けての話し合いになるうかと思えますが本場に正念場です。私達は現在の助成制度を守っていかねければならないと思っております。私達は感謝の気持ちを忘れずに、会員ならび関係者と共に透析患者の皆様が社会の一員として、元気に、楽しく毎日を過ごせる社会を作るために、この様な制度改悪に反対する活動を進めて行きたいと思えます。皆様には今まで以上のご支援、ご協力をお願い致します」



次に司会者より、ご来賓の札幌市議会議員の紹介があり、自由民主党・宮村もと子様、民主党・市民連合・長谷川衛様、日本共産党・村上 仁様、市民ネットワーク北海道・伊藤まき子様、四名の方にご祝辞をいただきました。

宮村もと子様 交通費の助成は個人のためのものでなく、それぞれの障がい者、健康を害している方の生きる道であると思っており、各団体の意見を聞き、ふまえて検討し、議会の方も各党派共調しあいながら、また各議員とも意見交換をしながら、利用する人の立場で良い着地点を見い出していききたいと思いません。健康あつての人生ですから、仲間であえあいながら、気持ちの支えと、治療の支えと、家族、地域支えあいを大事にしながら一日一日をいきいきと頑張ってください。

長谷川 衛様 腎友会の皆様のさまざまな活動は、理解をしておりますが、私も今回厚生委員になつた事もあり、しっかり取り組んでいきます。同委員会にはさまざまな問題がありますが障

がい者福祉の問題を一番重要な問題と考えております。

村上 仁様 交通費助成の話が会長からありましたが、福祉パスを含む、約七億円の削減の計画をしておりますが、事業規模は縮小しない方向で検討し、重度の障がい者の中身は変更しない方向で進んでおります。これは皆様の反対運動の成果だと思っております。四月より厚生委員会で副委員長もする事となりましたので、皆様の声を色々な形で審議する事となりますので宜しく願います。

伊藤まき子様 いつも「生きる仲間」を拝見してます。大変厳しい病氣と戦いながら多岐にわたる活動をされている事に頭が下がります。社会補償が削減され、福祉と医療のセフティネットが後退しています。経済対策として膨大な税金が注ぎこまれていますが、本当に必要な所に分配されていくのか、本日も交通費助成の意見を聞く会がありますので必要な所に当事者の意見が届くのか、私も参加して、皆様の力になりたいと思います。

などのような心強いご挨拶をいただきました。

ひき続き小澤幹事により「祝電・メッセージ」の披露があり（別頁参照）

ご来賓退場後、庄野運営委員が議長に選出され議事に入り報告事項として

- (1) 平成二〇年度活動報告
(坂事務局長代行)
 - (2) 平成二〇年度決算報告
(矢田会計)
 - (3) 平成二〇年度監査報告
(棚田まゆみ)
(山田 忠彦)
- 審議事項として
- (1) 平成二一年度活動方針(案)
(鈴木会長)
 - (2) 平成二一年度予算(案)
(矢田会計)

【ご意見】

札幌北クリニック 高橋様
議長の報告で、出席者数が三八名と発表されました。会則により一〇〇%に近い出席率ですが、全体の座席数が六五人分位しかない、最初から一〇〇人が出席する事は想定されていない。総会に対するアピールは現状でよいのでし

ようか。

【回答】

事務局 苮木副会長

出席者が少ない事は身にしみて感じてます。アピール方法は幹事を通して議案書等を配付し、出席出来ない場合は「文書発言用紙」で参加して下さいと働きかけをしています。執行部も、どの様な働きかけをするかとか考えなければならぬが、本日出席の皆様も現状を理解していただき、次年度は一人でも多くの方に参加していただけるようご協力をお願いいたします。

右のような質疑応答があり、年度活動方針及予算案が承認されました。

(3) 平成二一・二二年度役員(案)

田辺幹事より提案があり承認されました。

(4) その他として事務局長代行

より「青い鳥はがき」の協力、苮木副会長より道腎協(札幌大会)の案内がありました。最後に大野副会長の挨拶で終了いたしました。

(報告 坂 孝光)

(札幌南一条病院)



伊藤まき子様



村上 仁様



長谷川 衛様



宮村もと子様



監査報告の棚田さん(左)と山田さん



祝電披露の小澤さん



感謝状を授与された(故)堀江氏夫人(左)と(故)柳沼氏夫人(右)



祝電・メッセージ

- 市立札幌病院腎移植科
- 財団法人 北海道難病連 代表理事 平野哲夫様
- 財団法人 北海道腎臓バンク 理事長 高田奏一様
- 札幌市保健福祉局 保健所長 横内龍三様
- 札幌市保健福祉局 障がい福祉担当部長 館石宗隆様
- 社団法人 全国腎臓病協議会 会長 村木正隆様
- 釧路地方腎友会 会 長 油井清治様
- とちぎ腎友会
- 苫小牧腎友会
- 小清水腎友会
- オホーツク腎友会
- 紋別地方腎友会

ご臨席

- 札幌市議会議員 自由民主党 宮村もと子様
- 札幌市議会議員 民主党 長谷川 衛 様
- 札幌市議会議員 日本共産党 村上 仁 様
- 札幌市議会議員 市民ネットワーク北海道 伊藤まき子様

サンプル提供

- ベータ食品株
- エルピス株

札幌腎友会
茶話会

しっかり透析して、食べて、 運動して、元気になろう！

茶話会では、「しっかり透析」の秘訣について資料を使って学ぶとともに、十分な食事（栄養摂取）や運動の重要性について学習します。

その後はいくつかのグループに分かれて情報交換やおしゃべりなどをする予定です。

※会員・非会員問わず誰でも参加できますので、気軽に申し込みください。

- ・日 時：平成21年9月6日(日) 午後1時半～午後3時半まで（受付午後1時から）
- ・場 所：北海道難病センター（北海道札幌市中央区南4条西10丁目）3階会議室
- ・定 員：20名程度
- ・参加費：無料
- ・参加申し込み先
札幌腎友会事務局（☎011-707-6789）
- ・メール：togawa@kta.biglobe.ne.jpまで

※メールでのお申し込みには、氏名、施設名、性別、年齢、連絡先、電話番号をご明記ください。

第32回

道腎協定期総会の報告

2009年5月31日
KKRホテル札幌

五月三十一日(日)一〇時より第三二回総会、一三時より医療講演会がKKRホテル五階で行われ、雨の中遠方より八八名の方々が出席くださいました。

開会のあいさつ、黙とう後、道腎協の掛札副会長をはじめ、ご来賓では自民党道連副会長・北海道地方議連会長 清水誠一氏、民主党北海道幹事長 佐野法充氏、公明党北海道本部幹事長 佐藤英道氏、日本共産党道議団 団長 花岡ユリ子氏(代理) 小田一郎氏、(社)北海道臨床工学士会会長 室橋高男氏、(財)北海道難病連代表理事 高田泰一氏からのお言葉をいただき、祝電では高橋はるみ知事ほか多くの皆様よりお祝いのメッセージを頂戴しました。

平成二〇年度活動報告、決算報告、会計監査報告、平成二一年度活動方針(案)、予算(案)などを聞き、色々な思いがわきます。その中でも、腎友会会員の減少については、矛盾や憤りを感じずにはいられません。こうして毎年大半の非会員の患者の方々が知らない中で、患者みずから立ち上が

り、勉強会、キャンペーン、組織団結強化のための活動を行っているということをもっともつと知ってほしく思います。患者数は増えているのに会員数は減少している事も悲しい事です。患者ひとりひとりの無感心さを感じられて私に



は信じられない思いです。午後一時からは、医療講演会で、講師として、隈博先生による『災害時における透析医療提供体制〜福岡県西方沖地震と情報伝達〜』についてお話をしてくださいました。私は今まで、正直災害が起きてしま

ったら生きる事はむずかしい事だと諦めていました。機械によって生かされている私達は、大量の水と電気によつて成り立っているのです。でも先生はその中でも生きていくという事を語ってくれました。災害による病院間の伝達方法を、より効率よくさせるための色々な手段を考えて下さり、それを実現してくれているという講演内容に、私は感激と安心感をいただいた気がしました。

私達患者自身も、災害にあつたからと諦めるのではなく、カリウム、水分は気をつけておく事が大切だという事や、私達は機械を頼って生きていくけれども、まずは自分自身を守り、管理していくのだという強さは持たなければいけないのだと先生は話してくださいました。私は災害が起きたとしても光はあるのだと思いました。生きていくという強い心を持つことは大切だと改めて思えたお話しでした。ありがとうございました。

(報告 工藤 るみ)

〈三樹会病院〉

道腎協道央グループ 活動始まる！

道腎協の活動において札幌腎友会などの地方腎友会の活動は、広い北海道ゆえ、会員・役員の体力や、交通宿泊費等の面において、困難が伴っていました。

昨年一〇月一二日(日)の北海道プロック会議(旭川)に於て、今後の活動のあり方として、「グループ活動」が承認され発足しました。札幌腎友会も「道央グループ」の一員として(組織図参照)活動することとなり、昨年一一月の準備会議を経て今大会の分科会に於て今年の活動方針がまとまりました。

具体的内容としては、「介護保険」についての役員講習会を計画中で、道央グループ全体で三〇名を見込んでいます。講師陣は市役所などの実務担当者を用意して、介護保険、認定の

実際など具体的説明・指導をお願いすることになります。

このような専門知識を身につけ、会員の皆様や入会のおさそいの活動に生かしていきたいと思えます。

開催日は、幹事役員の通院の都合で日曜日(一一月一日予定)とせざるを得ませんが、どうか事情お察しの上、ご理解をいただきたく思っています。

ともかく、グループ活動初めての行事ですので皆様のご協力をお願い致します。

道央グループ代表

札幌腎友会 庄野 一男



道腎協グループ活動組織図

北海道腎臓病患者連絡協議会

道北グループ			道央グループ				道東グループ				道南グループ													
名寄市立病院腎友会	稚内地方腎友会	士別腎友会	旭川地方腎友会	富良野腎友会	留萌地方水無人腎友会	深川腎友会	札幌腎臓病患者友の会	江別腎友会	小樽後志地方腎友会	岩見沢腎友会	三笠腎友会	釧路地方腎友会	根室腎友会	北見地方腎友会	紋別地方腎友会	オホーツク腎友会	小清水腎友会	とかち腎友会	道南腎友会	室蘭地方腎友会	伊達地方腎友会	苫小牧腎友会	浦河地区腎友会	静内腎友会(休会中)

札幌市障がい者交通費助成見直しについて

札幌腎友会の取り組み

札幌市は、平成二二年度実施予定の「障がい者交通費助成制度」の新たな具体案を七月下旬から八月月上旬に市議会厚生委員会に発表の予定。市は身体障がい・精神障がいの重度一・二級（透析患者はほとんどが身体障害一級、しかし、三級の方もいる）。知的障がいAに関しては福祉乗車証の存続とタクシー券・ガソリン券の現行額を維持する、だが三・四級は助成額を削減の方向としています。（札幌腎友会役員と市障がい福祉課の意見交換会、市主催の意見交換会、市議会本会議での各党代表質問に対する答弁において明言）

札幌腎友会役員七名と市障がい福祉課の意見交換会では、役員から「交通費助成は札幌市の五〇〇〇人前後の透析患者にとって生活・経済に関わる問題、透析患者の高齢化や合併症から、今後ますますタクシーでの通院が増加する傾向にあり、むしろ拡充を望む。当初の案の時から七億円削減の話が出ることで事態がおかしい」「素朴な疑問として地下鉄は空でも走る、障害者一人や二人乗っても変らないのではないか？ 目的別制度の充実を」「白石のバス問題で

は転院する人が増えた、交通費助成の事は経済的に大きな問題」等、意見が出されました。また、札幌市障がい者政策提言サポーター会議は「福祉乗車証の存続とむしろ拡充を」と、上田市長へ二回目の提言をしています。そして、市議会本会議代表質問では、各党派とも、障害者の立場に立つ質問がありました。

当初平成二二年度見直し実施が平成二二年度実施に延び、重度一・二級の助成がほぼ現行どおりとの方向性が示された事は、皆さんの



たくさんのご協力（今までの経過詳細については「生きる仲間」八四・八五・八七号「生きる仲間」臨時一九・二〇・二一号に掲載）があったからです。しかし、市が示している方向の中で、三・四級に関する助成額削減、定期券廃止、精神障害三級の助成額についての問題等、この「障がい者交通費助成見直し」は、今後の札幌市の障害者施策の理念が問われています。今後も皆さんのご協力をお願いします。

（副会長 福原真理子）

主な活動報告

平成21年

- 4月2日(木) 政策提言サポーター会議
上田市長に障がい者交通費助成についての2回の提言書提出
- 4月7日(火) 『札幌市の「障がい者交通費助成」削減に反対する連絡会』(連絡会)と札幌市担当課との話し合い
市人事異動で村木部長・天田課長に
- 4月30日(木) 連絡会 札幌市担当課との話し合い
- 5月10日(日) 札幌腎友会役員7名と札幌市障がい福祉課(庄中係長と小林移動支援担当係)との意見交換会実施
- 5月18日(月) 札幌市主催「障がい者交通費助成について」の意見交換会
札幌市社会福祉総合センター 田辺運営委員 参加
- 5月27日(水)・28日(木) 札幌市議会本会議「障がい者交通費助成について」

【代表質問】

民主党 小川議員
自民党 佐々木議員
共産党 伊藤議員

- 6月5日(金) 連絡会 市議会民主党訪問 1名参加
三宅議員急用のため、事務局塩田氏応対
- 6月11日(木) 連絡会 市担当課との話し合い
- 6月17日(水) 連絡会 市議会市民ネットワーク訪問 1名参加
伊藤議員応対
- 6月26日(金) 連絡会 市議会公明党訪問 1名参加
あちら議員応対
- 7月3日(金) 連絡会 市議会自民党訪問 1名参加
村松議員応対
- 7月10日(金) 連絡会 交通局訪問 1名参加

その他、1～2回/月 連絡会事務局会議参加

※3月6日提出『札幌市の「障がい者交通費助成」削減に反対する連絡会』統一要望書賛同団体は現在56団体に、難病連も参加。



5月10日(日)障がい福祉課と札幌腎友会との意見交換会

新任運営委員の思い

今年度より組織活性化のため人員・人材が増強されました。新年度にあたり、高須・山田の両氏に抱負を語っていただきます。

知識・癒し・社会参加

高須 喜久男

(NTT東日本札幌病院)

昨年、亡くなられた稲田さんにバトンを渡されて幹事を引き受けましたが、大した自覚もなく会費集めを始めましたが、一年経った今は、多くの人と挨拶を交わし、口を利くようになりました。

先日行われた「道腎協の総会」で、難病連の方が短い挨拶をされました。その中に、「病気に對する知識を共有し、仲間との癒しを感じ、社会参加を通じて貢献すること」が会を通じて得られるメリットだという説明を聞いたような気がしました。長年、このことに携わってこられた方の年輪を感じました。

この度、まだ会の様子がよく分からないまま、運営委員を引き受けたと思ったら、組織検討委員長をということになり、まだ戸惑っている所です。先人たちが獲得し

てきた透析医療に対する保障が怪しくなりつつある今、会員の増強と積極的な活動が不可欠であることは確かです。皆さんが大きな事情を持ちながら会の運営に一生懸命努力されている姿を見ると頭が下がります。私も皆さんのご協力を前提に最大限の努力をしてみようと思います。

私は、組織の問題もあるだろうとは思いますが、目の前で毎日のように体験している病院関係者と患者や家族との関係が病院によって大きく違っているという点に注目しています。病院内のコミュニケーションが大変活発で、楽しくいつているところもあると聞いていますし、フラットな関係からは程遠いサービスしか受けられない厳しいところもあるという話も聞いています。施設によってサービ

スにかなりの違いがあるようです。自分勝手に流れがちな時代の傾向ですが、一人では生きていけないのですから「助け合い」の気持ちを取り戻さなければなりません。皆さんからいろいろなご意見を伺いたいと思います。

今まで「知識を共有する」努力はかなり実行されてきたと思いますが、「癒し」については、うまくい仕組みが考えられていないように思います。患者さんは、それぞれ違った境遇にあるので、よほどの工夫をしてイベントを企画しても、ほんの一部の人しか参加できません。最近になって、より身近な日々の暮らしの中できめ細かな交流ができればうまく行くかもしれないのではないかと思うようになりました。「社会参加」については、会の具体的な活動に積極的に参加すれば、自然に自覚できることだと思います。自分の事情に無理をしない範囲で「躊躇せず」に先ず参加してみる」ことだと思えます。結果として新しい自分のスタイルの「透析ライフ」が見えてくるかもしれません。

(透析九年目、六九歳)

近頃思うこと

山田 忠彦

(北光記念病院)

今年度新しく運営委員となりまして。これを機に感じるままに書いてみます。

今国会で「臓器移植法」の改正案が審議されています。この法律が施行されて一一年になります。諸外国にくらべ臓器移植が大きく立ち遅れているとのこと、これを促進させようと、今回A、B、C、Dと四つの法案が提出されました。この「生きる仲間」が出るころには採決されて一定の結論がだされていることでしょうか、私の感想としてはあまりにも不十分な国会審議（情けないことにテレビの放映中で審議中、居眠りしている議員もいました）、国民的合意・理解の不十分な状況を考える。私は札幌腎友会の「腎提供キャンペーン実行委員会」の委員になっ

ていて、かねがね腎移植の促進を願っておりますが、「脳死」を「人の死」とするかどうかとか、なによりも人の命にかかわる医療、生命倫理が問われる問題で国民的合意・納得が必要な事柄です。このことが無ければたとえ法律ができて絵に画いた餅になってしまいます。患者会の臓器移植キャンペーンだけでは国民の理解には限度があります。多くの臓器移植を待ち望む患者や家族のために、国のもっと積極的な取り組みを期待したいです。

私はこの五月で透析歴満一〇年になりました。みなさんも同じだったと思います。透析のはじめの頃しばらくは食事制限、透析者用の食事には苦労しました。たんぱく質、リン、カリウムの問題など栄養士さんから指導されたり、本

から学んだり。しかし一番苦労したのは私の妻。たつたかもしれせん。妻は野菜の茹でこぼしにその都度手間がかかって大変のようでした。私も食事作りにこの頃から加わるようになりました。私は理科の教師だったのでリン、カリウム、たんぱく質等には妻よりも得意。たつたからです。しかし現在はこれ等により神経質にはなっていません。なれたせいもありますが正直に言って手抜きになっていきます。カリウムには「アーガメイトゼリー」、リンには最近「ホスレノール」が処方されるようになりました。いまではこれ等に頼った食事になっています。そのほかリンには「リンゴ酢カルシウム」を併用しています。これは薬品では無くサプリメントとして市販されているものですが、私には「カルタン」よりも効きがよく「カルタン」を止めてしばらくはこれだけを服用していました。しかし透析技術が進歩してきたとはいえ、やはり基本は正しい食事だと思います。合併症を極力減らし、できるだけ長生きするにはそれが最良だと思えます。

今年から札幌腎友会の組織検討委員会に所属することになりました。いま「財政悪化」を口実にした社会保障費の毎年二二〇〇億円の減額により診療報酬の引き下げ、食事代の自己負担、マル障一割負担、後期高齢者医療の差別医療など、医療、福祉、介護の現場、患者を取り巻く状況は年々厳しさを増してきています。患者会の先輩たちの血のにじむような運動で得た成果が取り崩されてきています。患者の生活と命は患者自身の運動の発展でしか守れません。会員の減少傾向に歯止めをかけ、増勢をめざしてこのたび組織検討委員会が再開されました。数は力に転化すると思えます。腎友会が透析患者全体を代表できる組織まで前進し他の患者団体とも共同団結すれば発言力も増し、国の政策に一定の影響を持つでしょう。腎友会の前進を患者自身が行うこととして考え、みんなで取り組みようではありませんか。



投稿

透析しながら出産

永田 友香
(札幌北クリニック)



すくすく育つ三姉妹

透析を導入して四年経過しました。高校三年生の時尿検査で腎炎になった事が分かり、急性腎炎から慢性腎炎になり入院を繰り返す生活をしていました。二三歳の時長女を出産。二九歳の時次女を妊娠。当時の病院の産科の先生に「出産後透析になるかもしれないので赤ちゃん諦めるか、よく考えてご主人と相談して下さい」と言われました。出産二週間前まで働き元気な赤ちゃんが生まれました。諦めないで良かったです。それから三年頭痛・身体のたるさなど症状が始め、知人からの紹介で、平成一七年一月岩見沢クリニックに通い、五月一四日シャント

の手術をし、一七日仕事が出来ないくらい具合が悪くなり病院へ直行。その日から透析が始まりました。平成一九年四月札幌へ。札幌北クリニックへ通院。その年の一月二七日私の誕生日の日体調が悪かったので病院へ行き、妊娠している事が分かりました。嬉しかったけど透析しながら出来るか不安で知識不足でした。婦長に電話で報告すると、理事長・院長先生・看護師さんが協力してくれました。出産したN病院の産科の先生に最初私のような透析患者の妊娠・出産のケースは初めてで、リスクが大きいし、赤ちゃんがどんな状態で産まれてくるか分からないから出産には反対されました。主人は諦めてもいいと言ってくれましたが、お腹の子が順調に育つてるのを感じ産む決意をしました。妊娠中のつわり

な状態で産まれてくるか分からないから出産には反対されました。主人は諦めてもいいと言ってくれましたが、お腹の子が順調に育つてるのを感じ産む決意をしました。妊娠中のつわり

が軽く、食欲もあり、体重の増加が多く先生や看護師さんから注意される事しばしば。妊娠が分かった時点で週四回の通院で五時間透析。二三週目にN病院へ入院。二週間後から週五回の透析。五月に入り週六回の透析。月曜日は四時間。それ以外の曜日は三時間でした。私の場合は、「羊水過多症」だったから羊水検査を毎日しました。透析前後で検査したら、透析後で羊水が少なくなっている事が分かりました。六月一〇日朝、透析に行く前にシャワーを浴び、病室へ戻ったら出血。陣痛になり一時五九分二五〇四g男の子を出産しました。黄疸で二三日保育器に入ったぐらいで、二〇日後子供と一緒に退院出来ました。三ヶ月入院している間主人が仕事・家事・子供達の世話をしてくれました。そして、産まれた子の名前(紅れいん)と名付け、今年一歳を迎えました。透析患者でも諦めず、希望を持って頑張ってほしいと思います。

※連載のホットプラザは著者の都合上、しばし休みます。

障害者自立支援法における 利用者負担の軽減措置について

同法の内、「利用者負担の軽減措置」（担当の収入があり特定疾病2万円負担の人）について、当初より3年間で見直しの予定となっていたため、平成21年3月末日までの措置とされていました。

札幌腎友会幹事会や道腎協ブロック会議に（平成20年11月12日・旭川大会）において会員より質問がありました。同大会では全腎協役員の「栗原常務理事」が出席されていましたが未だ国の方針が打ち出されて無く、「継続してもらえよう働きかける」との答えとなっていました。

国の働きがあったのは昨年11月25日に「社会保障審議会障害者部会」において議論が整理され軽減措置は「更に継続して実施すべき」と表現されました。

以上の内容は全腎協より道腎協へメール連絡で入り同事務局より12月5日付で「至急連絡」というかたちで各地域腎友会へ連絡が入っていましたが、すでに途中申請済みの方で札幌市が、3月31日付までと認定された場合の救済がはっきりしない状態となっていました。

申請済みの方々は大変気がかりであったことと、思われます。

今年3月に入り全腎協より具体的な「経過的特例期限の延長」について道腎協へ連絡が入り、事務局より「道保険福祉部福祉局障害福祉課」に手続き方法等を問い合わせ下記の解答を得て3月4日付で各地域腎友会に「至急連絡」として配信されました。

記

【ケース1】平成21年4月1日以降を支給認定開始とする方

- 支給認定手続きを行って下さい。
- 受給者証の交付は遅れますが、そのまま継続されます。

【ケース2】年度途中で申請し、平成21年3月31日迄しか認定されていない方

- 本人が再申請することなく、当初の申請通りに延長されることになっています。まずは、市町村に確認して下さい。

一定所得以上の会員の方々には、大変気をもまれたと思いますが、報告が遅れおくれになったこととお詫びします。

(編集部)

創立三五周年 記念の集い

札幌腎友会では左の要領にて記念の集いと一〇周年透析者の表彰式を行います。
大勢のご参加をお待ちしています。

●日時 平成二一年

一〇月二五日(日)

正午一二時より

●場所 KKRホテル札幌

札幌市中央区

北四条西五丁目

●会費 四〇〇〇円(お一人)

●内容

・記念式典

・一〇年透析者表彰

・会食

・アトラクション

(津軽三味線ほか)

●申込

各施設幹事さんに詳細を確認の上お申込み下さい。

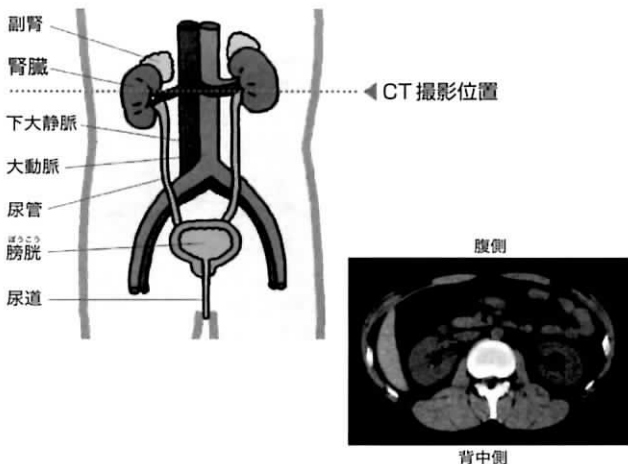
腎臓の働きと慢性腎不全

その1

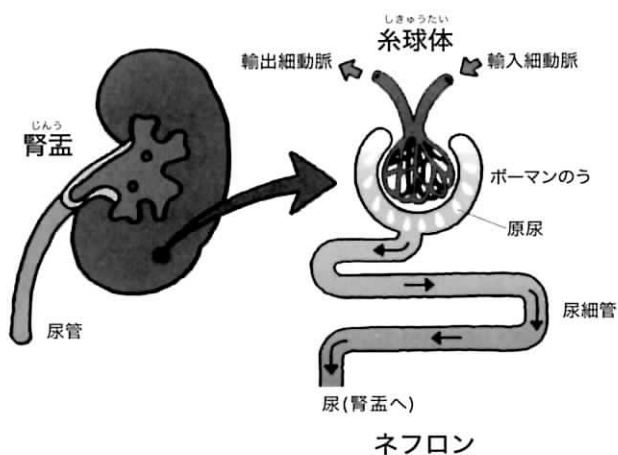
腎臓とは？

腎臓は腰上部の両側にあるそら豆のような形をした握り拳くらい大きさ（長さ10〜11cm×5〜6cm、幅4〜5cmで、一つの重さは約120〜150g）の左右一対の臓器です。

腎臓の基本的な役割は心臓から送られた血液をフィルターで濾し出す



腹部CT図
足の方から頭の方へ見た図です。



腎盂と糸球体

ことによって、血液中の老廃物や余分な水分を尿と言う形にして体の外に捨てることです。

血液が濾しだされて尿が出来る部位を糸球体（しきゅうたい）と言います。この糸球体から濾し出された尿は尿管（ようさいかん）という管を通ります。さらに尿管が集

まってできる集合管、さらに集合管が合流して、腎盂（じんう）という腎臓の内側に流れ込み、尿管（ようさいかん）を通して、膀胱に集められるのです。

この糸球体と尿管はペアになっていて、一つの腎臓に約100万個、左右二つで200万個もあります。

腎臓は何をこなすの？

腎臓の最も重要な役割は血液を濾過して尿をつくり、これを体の外に排泄することです。食事や飲水などによって体に溜まる余分な水分や酸・電解質、老廃物を尿として体の外に排泄。必要なものは再吸収して体内に留め、体内を一定の環境に維持しているのです。また、腎臓は血圧を維持するホルモン（レニン）や血液をつくる

造血ホルモン（エリスロポエチン）をつくり、血圧のバランスをとったり、貧血を防いだり、カルシウムを吸収して骨を作るビタミンDを活性化して、骨の量や質の維持やカルシウムバランスの維持に努めています。腎臓が悪くなると（腎不全）、これらの異常をきたすと下表のような問題が起こってくるのがわかります。

腎臓の機能	腎不全の時に起こる異常の例
水の排泄	浮腫（むくみ）、高血圧、肺水腫（胸に水が溜まる）
酸・電解質の排泄	アシドーシス（体に酸が溜まる）、高カリウム血症、高リン血症
老廃物の排泄	尿毒症（気分不快・食欲低下・嘔吐・意識障害）
造血ホルモン産生	貧血
ビタミンD活性化	低カルシウム血症、骨の量・質の低下

（腎不全治療選択小冊子より）

青い鳥はがきのご寄付をいただきました。
大切に使用させていただきます。

(敬称を省略させていただきます)

◎ 稲積公園駅前クリニック

佐藤京子 沢田英子
達見しま子 千葉聡子
坂本ウメ子 松永瞳
清水フミ 只野さゆり

◎ H・N・メディック

赤川良介 田宮英代
掛端トミ 村瀬文子
太田吉光 高橋節子
工藤美智子

◎ H・N・メディックさつぼろ東

庄野一男
金野正明 田中至子
南昇一 村上一呂子

◎ 勤医協中央病院

木谷憲男 北田三恵子
鹿糠登 鹿糠典子
高山早苗 大坂美栄子
宇野早苗 小林和雄
森野廣 田中真

前川美代子 五十嵐京子
山内文夫 五十嵐京子

◎ 五輪橋内科病院

五十嵐義晴 黒川一郎

平林國男

増井アヤ子 本多順子
山田勝実 美濃健一
木村一郎 荒井国子
宮本千鶴子 白坂恵子
鈴木啓三 鈴木洋子

◎ 札幌北クリニック

高橋藤雄 鈴木洋子
◎ 札幌東クリニック
本田幸子 佐々木美智子

◎ 札幌北榆病院

新井静子 卯野照美
山内慧 加藤久子
倉本励 田辺哲明
川原武明 藤井唯嗣
松田榮吉 桑元幸男

◎ 札幌南一条病院

坂孝光 矢田孝子

◎ 三樹会病院

工藤るみ 立花雅弘
◎ 篠路はまなすクリニック
中崎美津子 横井祐子
遠山サダ 片岡るり子
新山栄子 堀尾紀代子
中崎千江子 菅原君枝
金津千枝子

◎ JR札幌鉄道病院

中嶋一夫

◎ 仁楡会病院

山田裕

◎ 桑園中央病院

本田敏

◎ ていね泌尿器科

中川敏男 森田信子
大照政昭 片山末子
西山立子 大野武昭
徳井不二子

◎ 中野医院

福原真理子

◎ 新井田医院

伊藤義昭

◎ 星野泌尿器科

水谷義彦 奥清江

◎ 梅津和代

小澤由紀恵 中谷秀機

◎ 宮の森記念病院

工藤修

◎ 石狩病院

大渕道男

◎ もなみクリニック

新井田医院の伊藤義昭様は、昨年度ご寄付いただいたものを、事務局の手違いで「生きる仲間」に報告していませんでした。心からお詫び申し上げますと共に、今年度報告させていただきますので、悪しからずご了承下さい。

脳死は人の死

移植法改正案参院通過成立
公布一年後より施行する

臓器移植法は九七年一〇月に施行され臓器提供には、書面で示し家族も拒まないことを条件としてかつ、一五歳未満は禁止となっていました。

近年世界保健機関(WHO)が渡航移植を規制する方向に動きを見せ、そのなりゆきが注目されていたが、改正案が衆院通過に続き、二〇〇九年七月一三日参院も可決となり成立し、公布の一年後より施行される。現行法と改正移植法(A案は左のとおりです。

■ 現行の臓器移植法と改正案の違い

	現行法	A案
脳死の位置づけ	本人に臓器提供の意思がある場合のみ「人の死」	「人の死」が前定家族に認め拒否権を認める
臓器提供の条件	本人の意思と家族の同意	家族の同意(本人が拒否の場合は除く)
子どもか臓器提供	15歳未満は禁止	年齢制限なし
その他の特	—	親族への臓器の優先提供

【訃報】

三上 照美さん

平成二十一年三月二十六日にご逝去されました。

平成八年度より平成一六年度まで田島クリニックス幹事、平成二〇年度より事務局員としてご活躍されました。

ここに、生前の姿を偲び心よりご冥福をお祈り申し上げます。



〈事務局活動経過報告〉

- | | | |
|-------|------------------------|---------------|
| 3月13日 | “どうじん”第124号発送 | |
| 15日 | 第3回幹事会(北区民センター) | 34名 |
| 25日 | 事務局打合せ | (7名) |
| 31日 | “生きる仲間”第87号発行 | |
| 4月7日 | 会費納入願い発送 | |
| | “生きる仲間”臨時23号発行 | |
| 21日 | 札幌腎友会定期総会議案書発送 | |
| 23日 | 事務局打合せ | (6名) |
| | 総会打合せ | (6名) |
| 30日 | 道腎協総会議案書発送 | |
| 5月12日 | 道腎協総会ポスター発送 | |
| | “ぜんじんきょう”No.233発送 | |
| 17日 | 平成21年度第34回定期総会 | (北区民センター 43名) |
| 21日 | 事務局打合せ | (6名) |
| | 新型インフルエンザに関して札幌保健所に問合せ | |
| 26日 | 生きる仲間編集委員会 | (4名) |
| 6月7日 | 役員会 | |
| 21日 | 第1回幹事会打合せ | (12名) |
| 23日 | 事務局打合せ | (7名) |
| 7月12日 | 平成21年度第1回幹事会 | (33名) |

■事務局だより■

- ◎難病連への協力事業として、毎年取り組んでおります大通ピアガーデン利用券の販売にご協力をお願い致します。
- ◎腎提供者拡大街頭キャンペーンを9月27日(日)に大通西3丁目において開催します。皆様のご協力をお願い致します。
- ◎ご寄付を頂戴しております。会活動に役立たせていただきます。ありがとうございます。
 - ・吉田 嘉美 様(個人会員)より 3,000円
 - ・故 堀井 和彦 様(光星泌尿器科医院) 奥様より 10,000円
- ◎鉛筆(1ダース)・ハガキのご寄付を頂戴しております。会活動に役立たせていただきます。ありがとうございます。
 - ・勤医協中央病院 鹿糠 登 様

